



2026 年 10 月 8 日

各 位

会 社 名 ソースネクスト株式会社
代 表 者 代表取締役社長 兼 CEO 松田 憲幸
(コード番号 4344 東証プライム)
問合せ先 取 締 役 兼 C F O 青山 文彦
電話番号 0 3 - 5 7 9 7 - 7 1 6 5

米国法人の単月営業利益率が過去最高 31.8%、 米欧法人揃って2か月連続の単月営業黒字化達成に関するお知らせ

ソースネクスト株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:松田 憲幸)は、当社孫会社である POCKETALK Inc.(本社:米国カリフォルニア州、CEO:松田 憲幸。以下、米国法人)及び POCKETALK B.V.(本社:オランダ、CEO:田岡 通子。以下、欧州法人)が、2026 年8月度に引き続き、9月度においても、両法人が揃って営業利益の単月黒字化を達成し、2か月連続の営業利益黒字化を達成いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、9月単月の営業利益率は、米国法人が過去最高の 31.8%となっており、その結果、2026 年 12 月期第3四半期(2026 年7月～9月)における海外事業全体の営業利益は2億7百万円改善いたしました。

記

1.概要

当社の連結子会社であるポケット株式会社(本社:東京都中央区、取締役 代表執行役社長 兼 CEO:松田 憲幸)は、2026 年6月以降、海外事業において収益性を重視した事業運営体制への転換を進めてまいりました。その成果が継続的に業績へ表れており、以下の進展がありました。

- (1) 米国法人の9月の営業利益率が過去最高の 31.8%を達成
- (2) 欧州法人の9月の営業利益率が 26.7%を達成
- (3) 米国法人が2年ぶりに四半期営業黒字を達成
- (4) 欧州法人が5か月連続で単月営業黒字を達成
- (5) 米国法人・欧州法人が揃って営業黒字、初の2か月連続を達成

また、2026 年 12 月期第3四半期(2026 年7月～9月)の営業利益は、前年同期比で米国法人が1億 51 百万円、欧州法人が 56 百万円改善し、海外事業全体として2億7百万円の改善となりました。

2.黒字化の背景

米国法人では、事業運営体制の見直しによる固定費の適正化に加え、売上を支える市場の広がりも収益基盤の強化に繋がっております。これまで米国事業では教育分野が売上の中心を占めておりましたが、現在では教育に加え、医療、公共分野での導入が拡大し、3分野がそれぞれ売上を支える構成へと変化いたしました。特定の市場に依存する事業構造から、複数の市場で継続的な需要を獲得する事業構造へと移行することで、より安定した収益基盤の構築が進んでおります。また、教育分野においては、外国語を母語とする児童・生徒やその保護者とのコミュニケーションを支援する「Sentio - ポケットーク for スクール」の導入が引き続き進んでおります。同製品は、利益率が高く、安定的かつ継続的な収益が見込める製品です。

加えて、医療分野では患者と医療従事者との日常的なコミュニケーション支援、公共分野では行政サービスなどにおける多言語対応への需要が拡大しております。こうした利用領域の広がりにより、米国事業は教育を中心とした事業から、教育・医療・公共の3分野を柱とする事業へと変化しております。

欧州法人においても、販売体制の効率化や医療・福祉分野を中心とした法人需要の拡大を背景に、5か月連続で単月営業黒字を達成するなど、安定した収益性を維持しております。

3.連結業績への影響

2026 年6月 24 日に開示いたしました「当社連結子会社であるポケット株式会社の海外事業における事業運営体制の転換に関するお知らせ」の通り、海外事業における事業運営体制の見直しにより、米国法人で年間6億円超、欧州法人で年間3億円の収益改善を見込んでおります。今回の発表は、当社連結業績に

においても利益改善に寄与しており、上記の収益改善計画が着実に進捗していることを示すものです。なお、2026 年 12 月期第3四半期の連結業績につきましては、2026 年 11 月開示予定の決算発表にてお知らせいたします。

以上